

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期新ひだか町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道日高郡新ひだか町

### 3 地域再生計画の区域

北海道日高郡新ひだか町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1965年の35,754人をピークに減少がはじまり、住民基本台帳によると2022年には20,691人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が14,866人になるものと推計されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1960年の12,088人をピークに減少し、2023年には2,056人となる一方、老年人口（65歳以上）は1955年の1,174人から2023年には7,287人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1965年の22,648人をピークに減少傾向にあり、2023年には10,961人となっている。

本町の自然動態をみると、出生数は1965年の732人をピークに減少し、2023年には83人となっている。その一方で、死亡数は2023年には342人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲259人（自然減）となっている。

本町の社会動態をみると、年による変動はあるものの、一貫して転出者が転入者を上回る社会減となっている。転入数は2015年から外国人の転入者が増加傾向にあるが、進学や就職に伴う15～29歳の都市部への転出が多い状況が続いており、2023年には▲127人の社会減となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、担い手、後継者不足による基幹産

業の衰退や地域経済の縮小等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 新ひだか町の未来をけん引する人づくり
- ・基本目標 2 新ひだか町の魅力発信と町に関わる人づくり
- ・基本目標 3 未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり
- ・基本目標 4 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	生産年齢人口	10,961人	9,500人以上	基本目標 1
イ	観光総入込客数	61万人	65万人以上	基本目標 2
ウ	出生数	83人	90人	基本目標 3
エ	社会減少数(転入-転出)	▲127人	▲100人以下	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期新ひだか町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 新ひだか町の未来をけん引する人づくり事業

イ 新ひだか町の魅力発信と町に関わる人づくり事業

ウ 未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり事業

エ 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり事業

## ② 事業の内容

ア 新ひだか町の未来をけん引する人づくり事業

本町で働き続けられる雇用の確保・創出を支援するとともに、各産業の担い手、後継者対策に取り組み、新ひだか町で働きたいと思える環境づくりを進める事業

### 【具体的な事業】

- ・就農相談会をはじめとする道内外での募集活動の継続的实施
- ・商工会と連携した創業・事業承継支援事業の実施
- ・代行業者及び地元業者と連携した返礼品の充実
- ・中高生によるレキシントン市との相互派遣交流
- ・馬を生かしたイベントの開催による人材育成と町内外への馬産地の魅力PR
- ・地域人材や資源を活用したふるさと教育の推進 等

イ 新ひだか町の魅力発信と町に関わる人づくり事業

本町に魅力を感じ、本町で暮らすことを選択する人を増加させるため、道内外への情報発信、さらには、長期滞在型等の商品開発、イベント等の実施により、本町の交流人口や関係人口を増加させることで定住移住に結びつける事業

### 【具体的な事業】

- ・各種PRイベントへの積極的な参加による情報発信
- ・多言語化対応による受入環境整備及びプロモーションの実施
- ・体験滞在型観光の推進
- ・行政と民間とが一体となって取り組むためのボランティア養成
- ・体験移住環境及び各種相談・支援体制の強化・充実 等

ウ 未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり事業

慢性的に続いている「自然減」の状況を改善するため、将来を担う若い世代が希望を持って結婚し、安心して子供を産み育てることができる環境づ

## くりを進める事業

### 【具体的な事業】

- ・不妊治療に係る一貫した経済的負担の軽減
- ・妊娠前からの子育て期までの切れ目のない伴走型支援の実施
- ・こども家庭センターによる包括的・重層的支援の充実
- ・子どもにかかる医療費の助成
- ・子育て支援事業計画に基づく幼児教育・保育環境の充実 等

## エ 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり事業

人口減少を見据え、地域に住み続けられるよう、住民の「暮らし」の観点による地域づくりを進める事業

### 【具体的な事業】

- ・地域公共交通計画の策定による持続可能な地域内公共交通網の構築
- ・地域社会への情報発信・データ活用の推進
- ・空き家バンクを活用した物件情報の発信や各種相談体制の充実
- ・物件の無償譲渡を含めた有利な条件設定による利活用の促進 等

※ なお、詳細は第3期新ひだか町創生総合戦略のとおり。

※ 地域再生計画「二十間道路桜並木樹勢回復事業」の5-2の(9)に掲げる事業実施期間中は、同(3)に掲げる事業を除く。

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標(KPI)）

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

1,200,000千円（2025年度～2029年度累計）

### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度5月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

### ⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

## 6 計画期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで